

国交職組ニュース

2011. 7. 28 No.172

発行 国土交通省職員組合
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
Tel 03-5501-3377 Fax 03-5501-3388
マイクロ 80-59663
<http://www5a.biglobe.ne.jp/~shokuso/>

9/16-18 わいわい塾2011開催!

7/16 第65回中央執行委員会で年間行動計画等について確認

国交職組は7月16日、東京・総評会館において、第65回中央執行委員会を開催し、年間行動計画・役割分担および給与特例法案に係る顛末等について確認しました。また、職場と組合の現状と課題について情報・意見交換を行いました。

新執行部一丸となって運動を進めていきますので、各地本・支部の役員各位および組合員各位の積極的な参画をお願いします。
執行委員会の概要についてお知らせします。

■重点方針

中執会議では、定期全国大会で決定した方針に基づき、①組織の活性化を重視する（ホームページも活用した双方向コミュニケーションを推進する）、②組織拡大を積極的にすすめる（能動的な組織点検と魅力ある組織活動の推進）、③メンタルヘルス対策を重視する（当局による確実な措置に向け詰める）、の3つをポイントとして、年間行動計画と役割分担を協議・決定しました。

■主な決定事項

◇わいわい塾2011

9月16日～18日、東京・晴海グランドホテルで開催することとしました。参加対象は、わいわい塾2010（昨年）に参加した組合員以外を中心とし、内容は、「65歳定年を前提としたライフプランの設計」「自律的労使関係制度下の労働組合のあり方」が中心となります。

ライフプラン未経験の皆さん、奮って参加下さい。（スカイツリー、浅草巡りも予定しています。）



わいわい塾2010の様子

◇組織拡大対策会議

8月27日、都内において開催予定。各地本の組織拡大計画の再確認と実践に向けた意思統一のための会議。目標達成および検証が可能な計画の策定をスタートとし、組合員全員参加型の取り組み展開について具体化します。

- ◆基本・最低限＝減少見込数
＜拡大目標数＜勧誘行動数
- ◆誰が、何を、いつまで

◇地域主権（分権）対策会議

10月1日、都内において開催予定。政府・地域主権戦略会議の中間取りまとめを確認するとともに、必要な対応について協議します。なお、それまでの間、国交省当局との意見交換、公務労協を通じた政府・地域主権戦略室対応および与党対策、国交職組としての関係議員対策等の強化をします。

◇ホームページのリニューアル

8月以降の全面移行予定。携帯からのアクセスも含め、使い勝手の良いホームページになります。乞うご期待。現在、加藤委員長を先頭に更新作業の練習中です。

つながろうNIPPON
がんばろう！東北被災者支援と復旧・復興に全力

◇役割分担……責任者は概ね以下のとおり

組織：加藤、交渉：木付、広報教育：加藤、政策：（地域主権）加藤・芝野、（震災対応）木付・渡辺、（公務員制度改革）木付、総務財政：木付、がそれぞれ責任者として対応し、その他の中執および地本の全面協力を得てすすめることとしました。

一年間よろしくをお願いします。



よろしく お願いします

北陸地本の渡部幸太郎です。

今回、中央執行委員をさせていただくことになりました。初めてのことであり、分からないことだらけではありますが、少しでも皆さんのお役に立つことができたらと思っています。私たちを取り巻く状況は、非常に厳しいものがありますが、この状況を少しでも変えていけるように、皆さんとともに頑張りたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

※定期全国大会に所用のため欠席し、写真がなかったため、登場願ひました。

「六魂祭」です

7月16日～17日、宮城県仙台市内、東北地方整備局にほど近い場所、「六魂祭」（ろっこんさい）が行われました。東北六県の夏祭りを一堂に集めて堪能しようという、なんとも贅沢なイベントです。写真は、東北・大館さんに撮っていただきました。「人出が多くて大変」だったとのことですが、青森のねぶたと秋田の竿灯が一枚の写真に納まるっていうのも悪くないですね。（大館さんは、東北地本執行委員です。）



※国交省のメルマガに紹介されていたのを見つけて依頼。大館さんありがとう。

組合員・役員の方へ

国交職組の新ホームページは、仲間の写真とか各地のイベントとか、楽しい話題を中心にトップページを飾っていきたいと思っています。写真とコメントをいただければ、ドン更新していきますので、積極的に寄稿ください。

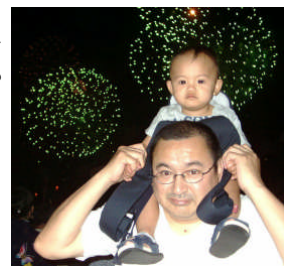
将来的には、ホームページ内に「地本・支部便り」のコーナーを常設したいという希望があります。（もちろん、地本においても更新作業ができるシステムとなっています。）

「地本・支部便り」コーナーでは、

- ・結婚、出産の情報（希望者のみ）
- ・組合員の訃報情報
- ・各地域のイベント、観光スポット
- ・地本・支部のイベント

などの情報を掲載し、親しみやすいホームページになればと考えています。

組合員・役員の方、国交職組新ホームページの運用開始に乞うご期待。そして、積極的参加を。（オープン8月以降）



加藤委員長と子どもの太郎くん。5年前の花火大会で。

給与特例法案に係る交渉顛末等について

国交職組は、5月13日に政府から提案された給与引き下げについて、5月23日受諾合意しました。その後、6月3日に法案は国会に提出されました。この交渉の顛末等について、国交職組としての総括を下記のとおり取りまとめ、発出しました。ご確認下さい。

2011年7月22日
組合員 各位
国土交通省職員組合
中央執行委員長 加藤 順一

給与特例法案に係る交渉顛末等について

全国的に暑い夏となっていますが、組合員各位におかれましては、心と身体の健康に留意され、夏バテなどせず健やかに過ごしていただければと念じています。

国交職組は6月25日、第12回定期全国大会を開催し、過去1年間の活動経過を振り返るとともに、向こう1年間の方針と役員を決定しました。(大会の様子は、国交職組ニュース No.171号を一読いただければと思います。)

大会では、給与特例法案に係る交渉・合意に関する熱心な質疑・討論が交わされ、執行部から「交渉開始から合意まで、時間が短かったこともあって、組織内の議論が不十分だった組織運営上の課題については、真摯に反省するとともに、顛末について、組合員各位あての文書を改めて出す。」という見解を表明したところで

顛末等については、下記のとおりですので、組合員各位の確認をお願いします。

記

1. 経過と情勢

国家公務員の総人件費削減は、政権交代以降、特に、2010年11月1日の人勧取扱い閣議決定以降、「既定路線」となっていました。しかも、人件費削減は、与野党問わずマニフェストに掲げた事項ですから、労使合意がないまま提出されれば、政府提案以上の「深掘り」を心配しなければならない情勢でした。

公務員連絡会、国公連合および国交職組は、政府から人件費削減の具体的提案がされることを想定し、交渉に入る3つの前提条件を確認しつつ、2011春季生活闘争方針(案)を提起し決定してきました。

ところが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって、当初「4月」に想定していた政府提案は、5月13日に大きくずれ込みました。

政府は、6月22日を会期末としていた通常国会に6月3日に法案を提出する方針を固めて

おり、法案策定作業等の所要期間を差し引くと、労使交渉の期間は極めて限られたものとなりました。

2. 交渉の顛末……経過は別途お知らせ済み

政府提案は、「平成25年度末まで、一律10%削減」という内容で、わたしたち国家公務員にとって大変厳しい内容でした。

公務員連絡会は、交渉前提条件を確認しつつ、提案内容について、一律削減の撤回と傾斜配分の再提案、退職手当への影響遮断、施行時期への配慮、などを求めました。

最終的には、一律削減から傾斜配分に見直したことで、退職手当に反映しないこと、施行時期は法公布の翌々月とすること、に加え、自律的労使関係制度の導入に係る法案の同時提出・同時成立に最大限努力すること、定員削減計画を実質的に凍結すること、労使合意優先の人勧対応とすること、震災対応のための超過勤務手当予算を確保すること、などを確認し合意しました。

なお、「とことん切り込まれてもいいから断固反対で闘争を組むべし」「組合は組合員を守る行動をとればいい、マスコミ・世論など気にせず闘え」という考えもあるでしょうが、国交職組は、国家公務員の給与が「税金」で賄われている現実と正面から向き合い、労使合意に基づく決着をめざすとともに、理不尽な政治・政局から賃金・労働条件の決定機能を本来あるべき姿に取り戻すため、交渉に臨んだということを理解いただきたいと思います。

3. 反省とお詫び

「人勧制度の下では極めて異例ではあるが、自律的労使関係制度が措置されるまでの間においても、その移行を先取る形で、給与の引き下げを内容とする法案」に係る顛末は、前述のとおりです。

短い交渉期間の中、国交職組組織内の議論が十分にできないまま、交渉合意に至ったことについては、率直に反省し、組合員各位にお詫び申し上げます。

また、今後、組織内議論を尽くして交渉にあたることを誓います。

以上

【補足説明】 今国会に6月3日同時に提出された給与特例法案と国家公務員制度改革関連4法案は、現在(2011.7.26)まだ委員会にも付託されていません。国会情勢は、震災対応関係以外については、与野党対決の構図となっているため、今後については、極めて不透明です。

国交職組は、上部団体に結集して、少なくとも「継続審議」となるよう、対策をすすめています。情報が入り次第、公務労協情報、国公連合情報、国交職組ニュース等でお知らせします。

あなたの参加大歓迎です！

わいわい塾2011で、ライフプランを創ってみようよ

65歳への段階的定年延長の検討が人事院ですすめられています。公的年金が2013年から61歳支給となり、将来的には65歳支給となることから、雇用と年金の連結を確実にするためです。国交職組は、上部団体に結集し、早期に意見の申し出をするよう、この間人事院に働きかけてきました。

わたしたち一人一人も「65歳定年」を前提としたライフプランを持つ必要があります。充実した職業生活と調和した家庭生活を送るためです。あなたの実現したい人生をより確実なものとするため、プランとチェックが不可欠です。

わいわい塾2011に参加して、ライフプランの「肝」を学びませんか？

あなたの参加を心から大歓迎します。(中央執行委員会)

◆過去に参加した方の声

50代「プラン演習で、マネープランを記入しはじめたら、『あっ』とか『うっ』とか思わず声が出た。『間に合わないじゃないか』と思ったけど、それが判ったことは良かった。もっと若い時にやれば間に合ったかも。」

30代「これから結婚して、2人の子どもが大学に行くとなると……。早く嫁を探さなきゃ。」

40代「家のローンと子どもの大学は微妙にタイミングがズレたから、ギリギリセーフ。雇用と賃金は大丈夫だろうな！」

30代女性「夫の小遣いを調整弁にすれば何とかね。2人目の子どもが最後なら、保険の見直しも必要なのか。長生きを楽しむためのプランは不可欠だね。」

50代「ゴルフが唯一の趣味だけど、仲間も自分も健康が維持できないと面白くないな。あいつにも健康面のプランが必要だって教えなきゃ。」

参加者それぞれの実現したい人生と事情があるため、演習には熱が入ってくる。たぶん、あなたも。

国土交通省職員組合 わいわい塾 2011

主催 国土交通省職員組合 とき 平成23年 9月16日～ 9月18日
後援 (財)富士社会教育センター ところ 東京・晴海グランドホテル

日	第1日	第2日	第3日	
時	9月16日(金)	9月17日(土)	9月18日(日)	
7:00	研修コンセプト 役員率先で 「わいわい」やろう ↓ 役員への元気を組合員へ	起床 おはようございます	起床 おはようございます	
8:00		朝食	朝食	
9:00		講義③ 国家公務員制度改革4法案の概要と課題について 講師:〇〇〇〇	演習⑤ 知って得するマネープラン ◆ライフサイクル表の作成 ◆ライフイベント (お金のかかる生活課題)における必要資金	
10:00		演習②グループ討議 わたしたちがやる組織課題1		
11:00		昼食	昼食	
12:00		各自昼食を取ってご集合をお願いします	演習③ フィールドワーク いきいきワークライフバランス 都内散策	演習⑥グループ討議 わたしたちがやる組織課題2 行動目標の明確化
13:00		受付 開講式 アイスブレイク	演習④ ライフプランと労働組合 ライフプランの必要性 自分らしく生きるには	閉講式 解散
14:00		演習① 労働組合の基本！ 労働基本権について	演習⑦ 明日の国交職組について 語ろう！ 夕食・懇親会	
15:00		講義① 国土交通省職員組合の課題 加藤中央執行委員長 フィードバックセッション	交流	
16:00		夕食	就寝	
17:00	講義② 拉致問題と国家の使命 講師 荒木和博 (特定失踪者問題調査会代表)			
18:00	夕食			
19:00				
20:00				
21:00				
22:00				

編集後記

■中国の高速鉄道が追突事故。死者も。後始末は「証拠隠滅」のためと言われても仕方ないやり方。世界経済を牽引している新興国代表だが、内実はお寒い限り。民主主義の洗いを浴びないままの成長は、砂上の楼閣と言わざるを得ない。

■国民を信頼し民主的運営に舵を切る……中国の新たな指導者に望みたい。(J)



